

ひとびと ゆうき 人々に勇気を

ルカによる福音書の伝えるイエスの誕生物語に

よると、イエスは生まれた時、飼い場桶に寝かされて
いました。又、イエスの誕生を最初に知ったのは、

夜通し働いていた羊飼いでした。

福音書記者は王としてのイエスの姿ではなく、貧

しい人々の中で、人々の友として行動されたイエスの
姿を描いています。

1章の記事を見ますと、子供がなくてはずかしい

生活を送っていたエリサベトには、ヨハネという名の
子供を産む事が告げられています。当時、子供を産め
ない女性はいやしい者とみなされていました。

そして、ナザレというガリラヤの町に住んでいたマ
リアにはイエスを産む事が告げられます。神が貧しい
人々や、苦しんでいる人々に目を留められ、この人々
に勇気を与える事が、マリアの賛歌にはつきりと歌わ
れています。

『主はその腕で力を振るい、思い上がる者をその
座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた
人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返さ

れます。』(1:51-53)

このように、イエスの誕生は、貧しい人々や、苦しんでいる人々をふるいたたせ、人々に勇気を与えるのです。逆に、権力のある者や、富める者には、災いをもたらすのです。

クリスマスにあたって、私たちがただ自分の事だけを考えるのではなく、イエスと同じように、どれだけ多くの人たちを勇気づけられるかを考える必要があります。

イエスの誕生を迎えるにあたって、私たちは何をしたらまわりの人を勇気づけられるか。次の空白に思いつくことを書いて下さい。

